

「進路」と「退路」

校長 沖田 浩史

学校では、「進路」という言葉がよく使われます。「進路希望」「進路指導」「進路室」など、松山東高校での学校生活の中で、「進路」と聞くと、皆さんは、「大学進学」をイメージすることでしょう。自分の将来を見据え、「どの大学に」「どの学部に」ということを意識しながら、日々の学習に取り組んでいることと思います。

「進路」という言葉は、一般には、「敵の進路を阻む」「台風の進路に注意を払う」などのように、「これから進んでいく道」という意味で使われます。自分の「進路」について考えるとき、皆さんには、10年後、20年後の自分をイメージして、「これから進んでいく道」を選択してほしいと思います。

皆さんは既に知っているかもしれませんが、「進路」という言葉には、対義語があります。「需要」⇔「供給」、「促進」⇔「抑制」、「創造」⇔「模倣」のように考えたとき、「進路」⇔「」の答えは何でしょうか。

タイトルにも掲げたとおり、「進路」の対義語は、「退路」という言葉で、一般には、「退路が断たれる」「退路を塞ぐ」などのように、「退却する道」という意味で使われます。「退路」は、別の言葉では、「逃げ道」と言い換えることができます。

自分の「進路」について考えていたはずなのに、それが「退路＝逃げ道」になってはいないか、立ち止まって確認してみてください。「自分はこの道に進みたいが、これまで以上に努力するのは大変だ。もう少し楽な道を選ぼう。」「自分の力では無理かもしれない。不本意だがこの道を選ぼう。」そうして進んだ10年後、20年後の自分が、高校時代を振り返ったときに後悔しないよう、自分の進むべき道をしっかり考え、努力することを惜しまず、高校生活を送ってほしいと思っています。皆さんには、東高生という、高みを目指す、同じ志を持った仲間がいます。そして、私たち教職員は、そのような皆さんに、できる限りの支援をします。どんなことでも相談してみてください。

皆さんが、自分の目標達成のために、仲間や先生方の力も借りながら、御家族の協力のもと、自分の「進路」を歩んでくれることを願っています。

この「進路の手引き」は、皆さんが「これから進んでいく道」を考えるための道しるべになるものです。松山東高校の進路状況、進学先の大学の情報のほか、東高生としての勉強法など、先輩たちからのアドバイスが掲載されており、読みごたえのある進路情報誌です。この「進路の手引き」を、自分の進路の指針として大いに活用してください。

皆さんには、「退路」ではなく、自分の「進路」の実現に向けて頑張してほしい、そう心から期待しています。そして、皆さんを心から応援しています。